

3年「昔の暮らし」

	書名	著者名	出版社	内容
1	昭和の子ども生活絵図鑑	ながたはるみ 絵 奥成達 文	金の星社	小学校の入学式、授業参観、給食、三角ベース、学校帰りの道草、チャンバラごっこ、あやとり、駄菓子屋、鬼ごっこ、紙芝居、縁日、家族の食事、楽しかった遠足など、懐かしい「昭和」が鮮やかによみがえる。
2	父さんの小さかったとき	塩野米松 文 松岡達英 絵	福音館書店	今から60年ぐらい前の父さん(おじいさん)達が子どもの頃の暮らしを紹介している。街の様子、ビー玉やメンコ遊び、魚とり、虫取り、友だちとのけんか 運動会、イナゴ採り、冬支度、スキー遊びなどを紹介している。当時の子ども達の生活ぶりが生き生きと伝わってくる。
3	母さんの小さかったとき	越智登代子 文 ながたはるみ 絵	福音館書店	今から60年ぐらい前の母さん(おばあさん)達が子どもの頃の暮らしを紹介。ままごと、縄跳び、鞠つき、石蹴り、駄菓子屋のくじ、手作りのおやつ、台所の手伝い、おふろやさん、リリアン編み、草や木の葉の遊びなど。当時の子ども達の生活ぶりが懐かしく伝わってくる。
4	としばあちゃんのケン玉作戦	山口節子 作 長野ヒデ子 絵	岩崎書店	3年2組のトチオのクラスでは、今けん玉がはやっている。今度学級けん玉大会をすることになり、みんな猛練習中だ。でも、トチオはいくら練習してもうまくならないので、気が重い。そんなある日、としばあちゃんが、トチオにけん玉を教えてくれることになった。さて、どんな作戦で？
5	いろはの かるた 奉行	長谷川義史 作・絵	講談社	「わしが『いろはのかるた奉行』じゃ！ 江戸時代にできた『いろはかるた』を研究し、今の世の新しい『いろはかるた』を作っておるのじゃ！」と、いろはの奉行が自慢している。どんな「かるた」か、見てのお楽しみ。